



既存賃貸集合住宅のオーナー様 必見!



選ばれる
物件へ!

(エコジョーズ・エコフィール)

省エネ型給湯器に取り替えて



入居者の満足度アップ!

より良い住環境を求める入居者に選ばれ、人気の賃貸物件に!

01



光熱費削減

エネルギー効率の向上により、
入居者の光熱費削減が期待できます。

省エネ型の給湯器に取り替えることで
光熱費が年間で**約12,189円^{*1}**おトクに!

光熱費コスト比較

年間で**約12,189円^{*1}**
おトク!

いわゆるガス(石油)給湯器で、
排熱の回収などの効率を改善する機能を持たない給湯器

従来型給湯器



省エネ型給湯器



*1 (一社)日本ガス石油機器工業会ホームページ「エコジョーズシミュレーター」から算出

02



環境への貢献

エコジョーズ／エコフィールは
よりクリーンで環境に優しい給湯システムです。

温室効果ガスの排出量が削減され、
地球温暖化の緩和に貢献します。

CO₂排出量(年間)

従来型ガス給湯器

1,154kg

エコジョーズ／エコフィール

991kg

年間
14%^{*2}
削減

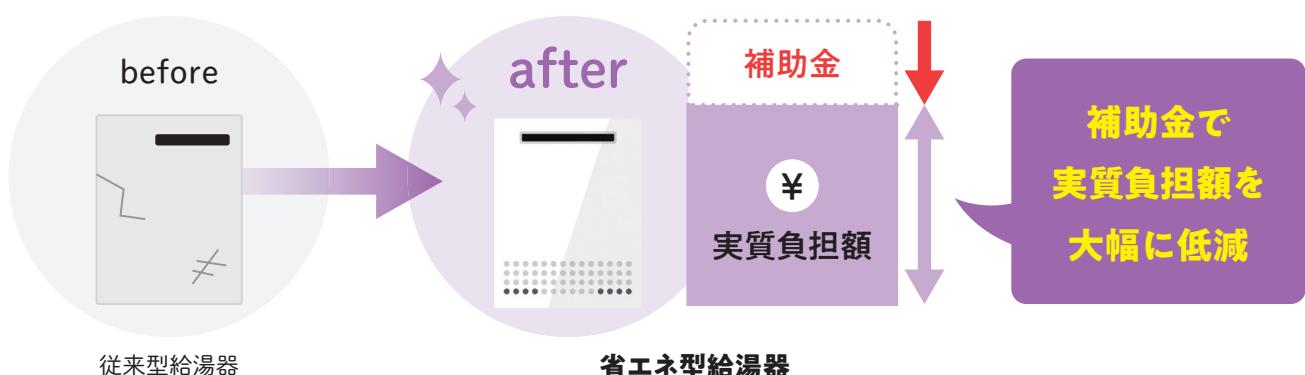
*2 (一社)日本ガス石油機器工業会ホームページ「エコジョーズ」って何ですか?から引用



経済産業省
資源エネルギー庁

補助金を活用することで 実質負担額を抑えて (エコジョーズ・エコフィール) 省エネ型給湯器に取替え!

導入費用のイメージ



例1

エコジョーズ(追い焚き機能なし)^{※1}
を導入する場合

従来型給湯器
材工費用合計

121,000円程度

エコジョーズ
材工費用合計

188,000円程度

価格差
67,000円程度

導入補助金

50,000円

例2

エコジョーズ(追い焚き機能あり)^{※2}
を導入する場合

従来型給湯器
材工費用合計

261,000円程度

エコジョーズ
材工費用合計

347,000円程度

価格差
86,000円程度

導入補助金

70,000円

（費用は（一社）日本ガス石油機器工業会の試算より概算）

※1 従来型給湯器（本体:77,000円、標準工事費:44,000円）。エコジョーズ16号 追い焚き機能なし給湯器（単身タイプ）（本体:126,000円、標準工事費:57,000円、ドレン工事費:5,000円）。

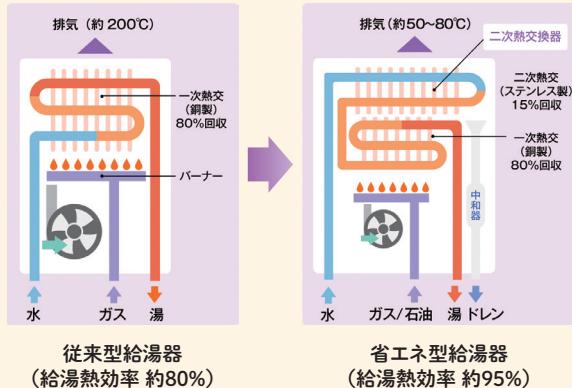
※2 従来型給湯器（本体:206,000円、標準工事費:55,000円）。エコジョーズ24号 追い焚き機能あり給湯器（ファミリータイプ）（本体:250,000円、標準工事費:75,000円、ドレン工事費:22,000円）。

(エコジョーズ・エコフィール)

従来型給湯器よりも省エネ型給湯器が

おトクでエコなのはなぜ?

省エネ効果◎
光熱費もおトク!



給湯器はガスや石油を燃焼させ、その熱で水を温めています。このときの排気は約200°C～230°Cと高温ですが、従来型の給湯器ではこの排気の持つ熱を捨ててしまいました。エコジョーズ／エコフィールは、この排気を活用してあらかじめ水を二次熱交換器で温めてから水が一次熱交換器へ送られるため、少ないエネルギーでお湯を作ることができて省エネ効果が高いのです！

熱の再利用により熱効率がアップするため、CO₂排出量も低下し地球にも優しい給湯システムになります。



従来型の熱効率

約80% ➡ 95%※へ！

今まで捨てられていた排気熱を利用することで、従来では約80%程度だった給湯熱効率が95%に向上しました。



従来型のガス使用量

14%※カット！

熱効率がアップすることにより、使用するガスの量も削減できます。



環境性

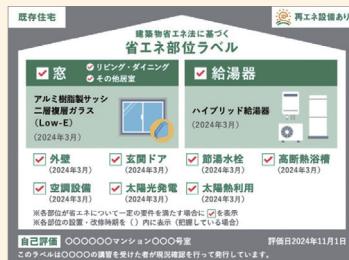
従来型のCO₂排出量

14%※削減！

地球温暖化の一因となるCO₂排出量を、従来と比べて大量に削減します。

※(一社)日本ガス石油機器工業会ホームページ「エコジョーズ」って何ですか?から引用

「省エネ部位ラベル」であなたの物件に選ばれる魅力をプラス！



「省エネ部位ラベル」とは
住宅の中でどの部分が省エネ性能に優れているかを入居者に分かりやすく見える化する新しい表示制度です

省エネ性能の見える化

「省エネ部位ラベルを導入すること」で、物件選びの際に省エネ性能を簡単に比較でき、入居者は環境に配慮した選択をすることができます。

光熱費の削減

既存住宅においても「省エネ性能で物件を選べるようにすること」で、入居者の住宅に対するニーズが増加する中、光熱費の削減が期待できる住宅としてアピールすることができます。

住宅の魅力向上

省エネ部位ラベルは物件の魅力を高める大きな要素となっています。
補助金を賢く活用しつつ、省エネ部位ラベルによって他の物件との差別化を図ることで、入居者に選ばれる物件を目指しませんか？